

SDGsスクール



春休みの3日間、大学のキャンパスでSDGsについて学んでみませんか？

いろいろな高校の生徒が集まり、ワイワイガヤガヤ、ワークショップ形式で行います。有機農業体験やズームで海外とつながるなど、楽しい体験イベントもあります。

スクールでの研究成果を本学の総合型入試で活用できます。

日程：3/28（月）、3/29（火）、3/31（木）

時間：10:00～15:00 ※参加費無料（昼食は無料学食体験）

対象：高校1年生、2年生 ※3日間とも参加できる方

場所：恵泉女学園大学多摩キャンパス（多摩センター駅からスクールバス約10分）

申し込み方法：詳細は裏面に

1

講座

体験を通してSDGsの基礎を学び、自分のテーマを決めます

2

グループ討議

大学図書館を利用して研究し、グループでブラッシュアップ

3

発表・修了式

研究発表に教員がコメント。高校の先生、友人、家族の招待もOK



恵泉女学園大学とは

ユニークなプログラムを持つ教養大学。「聖書」「国際」「園芸」を柱に人間の基本的なあり方を学び、広い視野をもつ自立した女性となるためのお手伝いをします。



THE 大学インパクト ランキング 2021

SDGs4（質の高い教育）及びSDGs5（ジェンダー平等）において国内2位グループ



THE 世界大学. ランキング 2021

国際性で5年連続首都圏女子大1位

体験を通してSDGsを学ぶ

フィールドからの学びは恵泉の伝統。
小さな大学だからこそできるユニークな
体験からの学びが盛りだくさん。あなた
もトライしてみませんか?! 例えば...

- 食料不足に備えて、虫を食べる
- 森林伐採対策として、代替肉を食べる
- 有機農場で野菜づくり
- 高齢者が集まるコミュニティカフェに行く
- 里山の自然遊歩道を歩く
- 現代日本のジェンダーと女子大の意義
- 子どもの貧困と居場所づくり
- 自給自足の生活をしているタイ山岳民族の村人と話す、etc.

【大学の授業（STEP II）から】



ヒンラートナイ村の取り組みを
見てみよう！



澤登 早苗 教授／社会園芸学科

園芸学、有機農業学・アグロエコロジー、
食育・食農教育論



篠田 真理子 准教授／社会園芸学科

地球環境入門、科学技術とリスク社会、
エコキャンパス実践、環境倫理・生命倫
理、社会と生物多様性



丸橋 亮子 准教授／社会園芸学科

心理学概論、発達心理学、保育学、家族心
理学



高橋 清貴 教授／国際社会学科

平和研究入門、NGO・NPO論、国際ボラ
ンティア論、ODA論、平和構築実践論、
カンボジアFS

会場は、自然豊かな大学キャンパス！
お申し込みは大学ホームページで

[https://www.keisen.ac.jp/admissionnews/
post-1243.html](https://www.keisen.ac.jp/admissionnews/post-1243.html)



在学生の声～ヒンラートナイ村（タイ）の取り組みを学んで

「今日の授業で、日本とタイでは生活様式も違い、また社会構造も違うのだと学びました。そして、そのような伝統的生活を自分たちで守ろうとする姿勢が印象に残りました。ジェンダー視点では、男女が協力し合っているとありましたが、こういったことは世界のジェンダーギャップ指数が下位にある日本社会が見習っていくべきなのではないかと思えます。自分たちとは違う生活がある社会のを知り、その価値観を認めていきたい。そして、価値観の違いを認めるだけでなく、自分たちが今生きている社会の構造（経済や文化システム、国家体制だけでなく、権力関係など、社会を構築するものすべてを含みます。）がどのような仕組みにあるのか、そしてその問題点はどこにあるのか、ということを考え、改善できるように実行していくといったことが大切なのだ改めて感じました。」（英語コミュニケーション学科3年生 十倉 愛蓮さん）

